

み ん な の 文 芸

選作豊間引 投稿数19句

自慢気に駅名を読む遠足児

下日野沢 高山 ユウ

(評) 小学校の遠足であろう。電車に乗ってあまり遠くない処への日帰りか。先生に引率されて駅までやって来た児童等には、きつとあこがれの停車場だろう。そんな折、駅の名称である看板を見つけ、習い覚えたばかりの知識を早速披露して、声を上げて「ここは何駅、次は何々駅だよ。」と得意そうに読み上げる。そんな場面に作者も居合わせ思わず微笑んだ瞬か。藤の句、今年には開花は遅かったが、山の藤も園芸種も佳かった。近郊には骨派田の様な名所もあるが、作者の住む地区の山藤の鮮やかな目に奪われる。

やま山の藤に視界の広がれり 夏風の風邪気弱となりし庭の雨 皆野 豊田喜美恵

宙を染め視界に余る罨葉の花 風そよぐ若葉の中の鴉かな 下日野沢 引間富美子

新緑の天へ太鼓の競いけり 無事と云う誕生を待つ若葉風 三沢 沢野 恒平

みなづきや雑草に追われて鉞振う 新緑やリユック連なる山の駅 皆野 関根 助市

喜寿を祝ぐ集合写真新樹光 雨上がり朝日色増す藤の花 上日野沢 小林つね子


姑の忌や武甲山崩れに青嵐 「うめえ水」と立札のある夏木立 皆野 根岸 詩子

野の花を好みし姑に野の香り手向け母の日感謝の祈り 皆野 新井 愛子
 深緑を全身に受け耕起する仲間集めて椋鳥の寄る 皆野 新井 茂
 武甲山より吹きくる風の冷たさに肌を寄せあふ野良猫親子 皆野 笠原三三子
 わが町に百寿極めし先輩の三人揃ふは驚き励みに 皆野 金子善次郎
 嬰兒の歌舞伎役者の所作なりて泣くも唸るも飽かずに見入る 皆野 豊田喜美恵
 若葉萌え諸々の花咲きつぎて窓辺清しき初夏の風吹く 金崎 山田 雅子
 咲き満つるポピーの麗し高原に嫁に誘はれ寛ぎ嬉し 下日野沢 浅見 豊子
 首都高をはしれば父の住む街が流れて行けり気づかないながら 上日野沢 四方田利男
 囀りを乱し鋭く鳴く鳥を「外来鳥だよ」と聞き納得す 三沢 新井 叶子
 古民具の展示にちちぶ銘仙も飾らる館山峡の夏 三沢 新井 民子
 秩父路の滝藤の美は言葉なくされど樹々泣く山は哀れや 三沢 新井 弘延
 さわやかな美味しい空気をすい乍ら花見ドライブ夢の一刻 三沢 鈴木 久良子
 亡夫の声聞きたくなりし日のあらば夫の十八番のテープかけをり 三沢 鈴木 貞恵
 三ヶ月経ち妻亡くしたる老漢のベンチにずっとずっと座れり 三沢 鈴木 杏子
 休耕の多き峡田にポピー咲き代掻く農も入れて撮りおり 三沢 投稿数17首

※今月号は都合により、短歌の評を取り止め、15作品を掲載します。

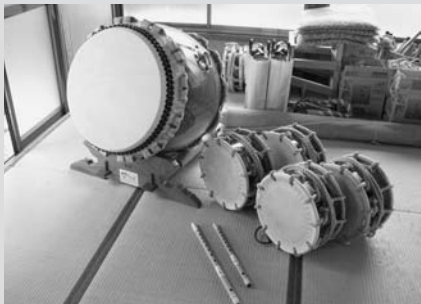
俳句・短歌を募集 (8日必着) 作品には、ふりがなをつけ、住所・氏名を明記して総務課へお寄せください。1人1句、1首に限ります。

ふれあいプール・ホットに水中階段を設置



ふれあいプール・ホットでは、プールの出入りが楽に安全にできる階段を一般プールに設置しました。ぜひご利用になり、水中ウォーキングなどをお楽しみください。

平成22年度一般コミュニティ助成事業 (宝くじ助成事業)



瑞穂太鼓會では、(財)自治総合センターが実施している平成22年度宝くじ助成を受けて、郷土芸能の保存・継承に必要な、大太鼓・小太鼓・笛を整備しました。

1歳のお誕生日おめでとう



えいみちゃん
 上原区 新井 政宏さん 綾子さん
 これからも可愛く元気なえいみちゃんできてね。いつも笑顔をありがとう。

※満1歳の赤ちゃんを募集します。8月号の締め切りは、7月10日出まで。ホームページからも応募できます。